

Kyoto Seika University Graduate School

ART / MANGA / DESIGN / HUMANITIES

京都精華大学 大学院

芸術研究科	博士前期課程・博士後期課程
マンガ研究科	博士前期課程・博士後期課程
デザイン研究科	修士課程
人文学研究科	修士課程



ボーダレスなフィールドと実践的なアプローチで、 世界に通用する表現者・研究者を育成

京都精華大学は、人間を尊重し、人間を大切にすることを教育の基本とし、
学問・芸術によって人類社会に尽くそうとする自立した人間を育てる大学をめざして、
1968年に誕生しました。

京都精華大学大学院は、学部における専門的教養の学びをさらに深化させ、
表現・文化の進展を牽引する場として、
特色ある環境と実践的なプログラムによる教育を行っています。

POINT 1

**芸術、マンガ、デザイン、人文学の
4研究科を横断する「共通基盤科目」を設置。**

京都精華大学大学院は芸術研究科、マンガ研究科、
デザイン研究科、人文学研究科の4つの研究科で構
成されています。

その大きな特徴は、研究科や領域、作家や研究者の
垣根を越えて、立場の異なる者同士が交流しながら
学べる環境にあります。表現の根本思想や哲学、社
会に展開するプロジェクトの実践など、どのような
分野においても応用できる、制作・研究を支える基
盤を養うことができます。

POINT 2

制作者と研究者が共に刺激しあう環境。

作品を制作する学生と、理論を研究する学生が隣り
合って学ぶのも本学の特徴のひとつ。お互いの方法
論や作品の意図、その背景を知ることで、創作や分
析の幅と奥行きが増していきます。また、制作系、
理論系の教員が合同で指導する体制を取り、技術と
理論の両面からサポートを行います。

POINT 3

**第一線で活躍するプロに直接指導を受け、
専門性を追究する。**

美術作家、キュレーター、デザイナー、建築家、マ
ンガ家、研究者など、第一線で活躍する教員が講義、
実習、プロジェクトを担当します。アート、デザイン、
マンガ、文学など、さまざまな表現分野をリードす
るプロである教員から直接指導を受け、自らの表現
や研究を深めていきます。

POINT 4

**国際的な学びの土壌で
グローバルな視点を獲得。**

学生のうち、約8割が留学生。出身地は、中国、韓国、
台湾などの近隣諸国はもちろん、欧米諸国や南米な
どさまざま。多様な国や地域から学生たちが集い、
異なる視点を交換しあえる、国際色豊かな研究環境
が整っています。また、海外の学会や展覧会で発表
する機会も豊富です。

POINT 5

国際都市・京都で学ぶ伝統と革新。

京都という立地を活かし、歴史や伝統に革新性を取
り込んだアートやデザイン、京都の環境施策や社会
基盤整備の先進的な取り組みなどを学べるのも、本
学の特色。また、京都市と京都国際マンガミュージ
アムを共同運営しており、京都は日本のマンガの研
究拠点としても注目されています。

研究科構成

芸術、マンガ、デザイン、人文学の4つの研究科で、学識と技術を深め、高い専門性と柔軟な感性を持ち、表現で世界を変える人を育てます。

芸術研究科 博士前期課程（修士課程） 博士後期課程（博士課程）	マンガ研究科 博士前期課程（修士課程） 博士後期課程（博士課程）
デザイン研究科 修士課程 デザイン専攻・建築専攻	人文学研究科 修士課程

沿革	<p>1991年 京都精華大学大学院美術研究科開設（造形専攻・デザイン専攻）</p> <p>1993年 大学院人文学研究科を開設</p> <p>2000年 大学院美術研究科を芸術研究科に名称変更</p> <p>2003年 大学院芸術研究科に博士後期課程を開設</p> <p>2010年 大学院芸術研究科を再編。デザイン研究科（デザイン専攻修士課程・建築専攻修士課程）およびマンガ研究科（マンガ専攻修士課程）を開設</p> <p>2012年 大学院マンガ研究科に博士後期課程を開設</p>
-----------	---

アドミッションポリシー

次のような人物を求め、広く国内外から受け入れます。

芸術研究科	博士前期課程	芸術研究科の各専門領域に強い関心を持ち、各専門領域を学ぶ上でベースとなる表現・研究活動歴を有し、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。
	博士後期課程	芸術領域、デザイン領域、メディア領域の研究に強い関心を持ち、将来学術研究者として新たな研究の領域を探索していくことに強い意志を持つ者、研究・制作面において自立的に活動を実践するための能力を有する者。
マンガ研究科	博士前期課程	<p>【実技系】 マンガ領域における専門知識・技能について理解する能力があり、作品制作において高い構想力を持つ者。将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。</p> <p>【理論系】 マンガ・アニメーションの先行研究をめぐる基礎知識、および学術論文の作成能力を持つ者。広義のマンガ領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。</p>
	博士後期課程	<p>1) マンガ・アニメーションに関する高度な表現の技術や理論を研究しようとする者。</p> <p>2) 学術論文を執筆するための基礎学力とマンガ・アニメーションの先行研究における幅広い知識を持ち、他領域との接続や融合による多角的な視点で研究する能力を有する者。</p> <p>3) 自立して創作、研究活動を持続し、文化の創造と発展に寄与しようとする者。</p>
デザイン研究科	修士課程	デザイン研究科デザイン専攻あるいは建築専攻の専門領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。
人文学研究科	修士課程	人文学研究科の研究領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。

博士前期課程

実技／理論

【領域】洋画、日本画、立体造形、陶芸、染織、版画、映像、芸術理論

芸術の本質に迫る、
真に創造的な人を育てる。

芸術研究科博士前期課程は、学士課程の教育をさらに発展させる、体系的で充実したカリキュラムを準備しています。プレゼンテーションや展示手法などの実践的方法、芸術理論、美術史、現代アートに関する高度な専門知識、複数教員による各領域での技法探求を通じて、個々の独創的な創作・研究活動をサポートします。

PICK UP 全国トップレベルの制作・研究環境

全国の芸術系大学のなかでもトップレベルの充実した設備と広い制作空間を誇り、現役作家でもある指導教員が徹底した個人指導を行います。制作に打ち込める環境とプロの厳しい批評眼によって、創造性と普遍性を備えた高いレベルの表現を育てます。理論系は、制作現場のすぐ近くで実践的に研究を深めます。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
洋画	安喜 万佐子 YASUKI Masako	絵画／現代美術	○
	小松 敏宏 KOMATSU Toshihiro	絵画／空間芸術	
日本画	雲丹亀 利彦 UNIGAME Toshihiko	日本画	
	中野 裕介 NAKANO Yusuke	描画 - テキスト - 空間表現／現代美術	
立体造形	吉野 央子 YOSHINO Ohji	立体造形／彫刻	
陶芸	中村 裕太 NAKAMURA Yuta	現代美術／工芸文化論	
	宮永 甲太郎 MIYANAGA Koutarou	美術	
	吉村 敏治 YOSHIMURA Toshiharu	陶芸	
染織	鳥羽 美花 TOBA Mika	染色	
	中川 裕孝 NAKAGAWA Hirotaka	テキスタイル／美術	
版画	芳木 麻里絵 YOSHIKI Marie	版画／現代美術	
	北野 裕之 KITANO Hiroyuki	写真／版画	
映像	西 光一 NISHI Koichi	メディアアート	○
	平野 砂峰旅 HIRANO Saburo	コンピュータ音楽／メディアアート／サウンドスケープ	
	宮永 亮 MIYANAGA Akira	映像表現	
芸術理論	鯖江 秀樹 SABAE Hideki	美術史／表象文化論	

研究テーマ例

- ナタリー・ユールベリ&ハンス・ベリによるストップモーション・アニメーション作品の考察 ―シュルレアリズムとの関係を中心に
- 染色における光の形の変化

修了要件

【博士前期課程】30単位以上修得および修士作品または修士論文を提出し、審査に合格すること

【博士後期課程】14単位以上修得し、尚且つ博士論文を提出し、審査および試験に合格すること

博士前期課程 科目例

【共通基盤科目】表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読

【専門特講科目】芸術理論特講、表現領域特講

【専門研究科目】芸術研究

博士後期課程

理論

自分だけの研究をより深く突き詰める。

芸術研究科博士後期課程では、修士課程の教育をさらに発展させ、博士号の取得をめざします。主査1名、副査2名以上の複数教員によって、個別具体的な指導を実施します。さらに、研究テーマの隣接分野への理解を深めながら、研究計画、調査手法、文章作成をより専門的に学修していきます。博士論文の作成は段階的に進められます。1年次には「公開報告会」で1年間の研究成果を公にし、新たに探究すべき課題を見つけます。2年次には、「学位審査予備審査会」で博士学位論文を執筆するに足る学術的素養について審査を受けます。3年次には、「学位審査会」で主査1名、副査2名以上の教員による厳正な評価のもと、提出論文の可否について判定が下されます。

【教員一覧】

教員名	専門分野	英語指導
ウスビ・サコ Oussouby SACKO	コミュニティ論/建築計画	○
大迫 克全 OOSAKO Katsumasa	インテリアデザイン/プロダクトデザイン	
北野 裕之 KITANO Hiroyuki	写真/版画	
小松 敏宏 KOMATSU Toshihiro	絵画/空間芸術	○
鯖江 秀樹 SABAE Hideki	美術史/表象文化論	
谷本 尚子 TANIMOTO Naoko	デザイン史/デザイン論	
鳥羽 美花 TOBA Mika	染色	
葉山 勉 HAYAMA Tsutomu	建築設計/インテリアデザイン/家具デザイン/まちづくりコーディネート	○
平野 砂峰旅 HIRANO Saburo	コンピュータ音楽/メディアアート/サウンドスケープ	
前田 茂 MAEDA Shigeru	美学/映画芸術論	
宮永 甲太郎 MIYANAGA Koutarou	美術	
安田 昌弘 YASUDA Masahiro	ポピュラー音楽研究/文化社会学	
吉野 央子 YOSHINO Ohji	立体造形/彫刻	
中村 裕太 NAKAMURA Yuta	現代美術/工芸文化論	
中野 裕介 NAKANO Yusuke	現代美術/空間表現	

研究テーマ例

- 武井武雄の創作活動 — 版画・刊本作品・童画
- EDO YOKAI KARUTA : MONSTERS AT PLAY
- 造形のレアリテ — 海老原喜之助の戦後絵画
- The event that marked Kojin Toneyama : The Sakuma Dam and his encounter with Mexican art and culture.
- 見るための絵本 — 赤羽末吉の絵とそのコンポジション



マンガ研究科

博士前期課程・博士後期課程

博士前期課程

実技／理論

【領域】 マンガ実技、マンガ理論 ※アニメーション実技の領域はありません

世界屈指のマンガ研究機関で
最先端の研究を国内外に発信する。

2006年に日本初のマンガ学部を、さらに2010年には日本初のマンガ研究科を開設するなど、京都精華大学は常にマンガ教育・研究のトップランナーとして走りつづけています。マンガを単なる資料として扱うのではなく、その表現の本質を明らかにしていくことで「マンガとは何か」を追究している世界屈指の研究機関です。

PICK UP マンガの専門機関と連携し、
深く幅広い研究が可能

本学の研究機関「国際マンガ研究センター」では、国内外のネットワークを構築しながら、マンガやその原画などのアーカイブを行い、研究を進めています。そのような専門の研究機関や、京都市と共同運営している「京都国際マンガミュージアム」との連携により、マンガ表現のさらなる進化と、マンガ研究の国内外への発信をめざしています。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
マンガ実技	小田 隆 ODA Takashi	絵画／イラストレーション／美術解剖学	
	大谷 じろう OHTANI Jiro	マンガ	
	数井 浩子 KAZUI Hiroko	キャラクターデザイン／ストーリーメイキング	○
	具 本媛 KOO BON WON	ストーリーマンガ／マンガ表現論	○
	武富 健治 TAKETOMI Kenji	創作ストーリーマンガ／コミカライズ	
	辻田 幸広 TSUJITA Yukihiko	アニメーション制作理論／インタラクション	○
マンガ理論	姜 竣 KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
	小泉 真理子 KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
	松下 哲也 MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	
	吉村 和真 YOSHIMURA Kazuma	思想史／マンガ研究	

研究テーマ例

- 日中コンテンツ産業をめぐる著作権問題の考察 —マンガにおける著作権保護を中心に—
- エッセイマンガの多様性と可能性 —「描く」という行為とメディア論を手掛かりに—
- 日本の原作マンガから中国の実写映画へ —『賭博黙示録カイジ』から『動物世界 Animal World』の比例として—
- 面を被ることで幽玄の世界を出入りする、ステルスアクションゲームのコンセプト及び、イメージボード作成
- 『美術手帖』から紐解く戦後漫画と美術界
- 視覚障害者に向けたマンガの提供フローの構築に関する研究 —ステークホルダーへのインタビューを手がかりに—

修了要件

【博士前期課程】 30単位以上修得および修士作品または修士論文を提出し、審査に合格すること

【博士後期課程】 14単位以上修得し、尚且つ博士論文を提出し、審査および試験に合格すること

科目例

【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読

【専門特講科目】 マンガ理論特講、マンガ領域特講

【専門研究科目】 マンガ研究

博士後期課程

実技／理論

【領域】マンガ

国内外でマンガ研究をリードし、
新たな可能性を拓く人を育てる。

マンガ／コミック文化についての研究や海外文献講読などにより、国際的に活動できる高度な専門能力を身につけ、国内外の学会会議や報告会で研究成果を発表します。いま、世界のマンガ評論や研究の場では、国際的にマンガ研究のレベルを向上させることが日本に求められています。マンガ研究科博士後期課程では、そのために必要となる、より深い知識とプレゼンテーション能力を着実に磨いていきます。博士前期課程同様、国際マンガ研究センターなどの研究拠点を活用し、マンガ研究の新たな学問分野を築く人の育成をめざします。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
マンガ	姜 竣 KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
	小泉 真理子 KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
	辻田 幸広 TSUJITA Yukihiko	アニメーション制作理論／インタラクション	○
	松下 哲也 MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	
	吉村 和真 YOSHIMURA Kazuma	思想史／マンガ研究	

研究テーマ例

- マンガ的コミックの「マレーシアらしさ」—文化的アイデンティティとコミック表現をめぐって—
- アダプテーションとしてのメディアミックス —前田真宏の『巖窟王』を例に—
- オタク化するギーク、ギーク化するオタク
—ハンガリーのプロデューサーから見たアニメ・マンガ文化の国際的普及およびサブカルチャー的クラスターの役割—
- 1960年代の少女マンガの〈忘却〉と〈発見〉
—週刊マーガレット誌の調査にもとづくメディアの物質性の研究 (1963-1970) —



デザイン研究科

修士課程

修士課程

実技／理論

【領域】 ビジュアルデザイン、プロダクトデザイン、デザイン理論、建築

最先端を理解し、対応できる
プロフェッショナルを養成。

デザイン専攻と建築専攻からなるデザイン研究科は、文化や社会に深い造詣をもったデザイナー、建築家、デザイン理論研究者を育成します。社会や産業の現場と交流しながら実践的に学べるプログラムを豊富に用意しており、メディアやツールの進化にも柔軟に対応し、新しい提案を行えるプロフェッショナルを養成します。

PICK UP 産学連携を重視した実践的な研究

デザイン研究科のプログラムは、社会や産業の現場と交流しながら、実践を通して展開する取り組みが豊富です。新素材を扱うメーカーへの商品提案、和紙や瓦、組み木といった伝統工芸・地場産業とのコラボレーション、教員が実際に手がける建築物や都市空間の設計アシスタントなど、プロの仕事に学び参画する経験を通じて、発想力や企画力を鍛え、デザインに結実させていく技術と表現力を身につけます。

【教員一覧】

	領域	教員名	専門分野	英語指導
デザイン専攻	ビジュアルデザイン	北村 ケンジ KITAMURA Kenji	イラストレーション	
		高橋 亨 TAKAHASHI Toru	グラフィックデザイン	
		中村 光宏 NAKAMURA Mitsuhiro	アートディレクション／グラフィックデザイン	
		森原 規行 MORIHARA Noriyuki	コミュニケーションデザイン	
	プロダクトデザイン	大迫 克全 OOSAKO Katsumasa	インテリアデザイン／プロダクトデザイン	
		小北 光浩 KOKITA Mitsuhiro	ファッションデザイン	○
		米本 昌史 YONEMOTO Masashi	インテリアプロダクトデザイン	
デザイン理論	蘆田 裕史 ASHIDA Hiroshi	ファッション論／ファッション史		
	谷本 尚子 TANIMOTO Naoko	デザイン史／デザイン論		

	領域	教員名	専門分野	英語指導
建築専攻	建築	ウスビ・サコ Oussouby SACKO	コミュニティ論／建築計画	○
		河井 敏明 KAWAI Toshiaki	建築設計	○
		川上 聡 KAWAKAMI Satoshi	建築設計	○
		岸川 謙介 KISHIKAWA Kensuke	建築設計	○
		高松 樹 TAKAMATSU Itsuki	建築設計／インテリアデザイン／家具デザイン	○
		葉山 勉 HAYAMA Tsutomu	建築設計／インテリアデザイン／家具デザイン／まちづくりコーディネート	○

研究 テーマ例

- 夫婦が協力する育児向けのサポートアプリ
- セカンドキャリアを考える 滞在型観光から繋がる移住プランの考案
- 空間の静謐性と生命力に関する研究
- Light, Philosophy and Storytelling, The Fundamental Elements for Architectural Planning and Design and Design of Religious Buildings
- 自然資源を利用した省エネルギー集合住宅に関する研究

修了要件

30単位以上修得および修士作品または修士論文を提出し、審査に合格すること

科目例

- 【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読
- 【専門特講科目】 デザイン理論特講、創造領域特講
- 【専門研究科目】 デザイン研究、建築研究、建築設計特講、先端建築技術特講、建築家倫理特講、建築構造演習、建築設備演習、建築設計監理演習

建築専攻修士課程では指定科目の修得および修了することで、一級建築士受験資格の実務経験要件とみなされます。



人文学研究科

修士課程

修士課程

【領域】人文学

柔軟な視野で、人間と社会と文化の過去・現在・未来を真摯に探求する。

人間と社会と文化をめぐるあらゆる事柄を研究対象とし、固着した学問領域の枠にとらわれず、普遍的・横断的なアプローチで独自のテーマを追究します。歴史、人、作品（文学、映画、マンガ等）、理論、思潮、実践、コミュニティ、地域、都市、国際、環境、制度など、多様な切り口からテーマを深め、その思考と行動の所産を社会に提言していきます。既成の枠組みにとらわれないために、軸足を置く専門領域は違えど教員や学生が共に人文学的態度を志向します。また、互いの研究内容についてフラットな立場で真摯に対話を行うアカデミックな場を設けています。人間の過去・現在・未来を自由に探究できる環境で、私たちの前に立ちのぼってくる問いを論理的に掘り下げ、主張するに足る一つの結論へと到達できる総合的な人文知を育みます。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
人文学	是澤 範三 KORESAWA Norimitsu	文学／日本上代文学／日本語研究	
	申 昌浩 SIN Chang-Ho	宗教社会学／大衆文化論／風俗史	
	鈴木 起生 SUZUKI Takeo	社会学／社会理論／多文化研究	○
	住友 剛 SUMITOMO Tsuyoshi	教育学／学校教育論／子ども支援研究	
	レイチェル・ソーン Rachel Thorn	マンガ学／ジェンダー論／少女マンガ研究	○
	高橋 伸一 TAKAHASHI Shinichi	比較文学／詩学／ヨーロッパ基層文化論	○
	田村 有香 TAMURA Yuka	地域社会学／生活環境論／社会調査研究	
	藤枝 絢子 FUJIEDA Ayako	地域学／国際協力論／風土建築研究	○
	堀井 佳代子 HORII Kayoko	歴史学／日本古代史／対外関係論	
	前田 茂 MAEDA Shigeru	美学／映画藝術論／モダニズム研究	
	山田 創平 YAMADA Sohei	社会学／都市社会論／地域研究	
	吉永 隆記 YOSHINAGA Takanori	歴史学／日本中世史／荘園論	

研究 テーマ例

- 『族長の秋』における「カーニバル」と「グロテスク・リアリズム」—パフチン概念の援用としての試論的考察—
- 日本のマスメディアにおけるヴェルサーチの表象—バブル文化の文化史的考察から—
- スカート、ヒール、はだけた胸—ヴィジュアル系の中のジェンダー表現—
- 日本における動物保護行政の成立—犬猫の管理に関する法制史から—
- 大津絵の研究
- 20世紀前半期における幼稚園保育のなかの〈性〉
- 批評と哀悼—小林秀雄における詩的言語の生成過程—
- 日本的キャラクターの成立—キティ・ホワイトからみる補完されるキャラクター—
- 中国現代詩人 張頌の詩論について—元詩と現代性という詩的概念を中心に—
- 華北交通史—日中戦争期中国での日本式鉄道経営—
- 茶道と儒教思想—茶湯から茶道へ—

過去、本研究科の修士生が上記の研究テーマによって、東京大学、総合研究大学院大学、大阪公立大学、立命館大学などの博士後期課程や海外の大学（韓国の大邱大学など）に数多く進学しています。

修了要件

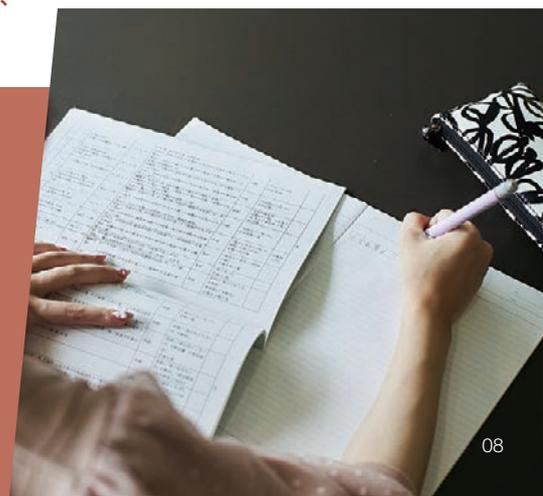
30単位以上修得および修士論文を提出し、審査に合格すること

科目例

【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読

【専門特講科目】 表現領域特講

【専門研究科目】 人文学特殊講義、人文学合同演習、人文学基礎演習、人文学演習



入学選考

[募集人員]

	課 程	専 攻	募 集 人 員
芸術研究科	博士前期課程	芸 術	20 名
	博士後期課程	芸 術	5 名
マンガ研究科	博士前期課程	マンガ	20 名
	博士後期課程	マンガ	4 名
デザイン研究科	修士課程	デザイン	10 名
		建 築	5 名
人文学研究科	修士課程	人文学	10 名

[入試日程]

	博士前期課程・修士課程 1 期	博士前期課程・修士課程 2 期	博士後期課程
一次審査 出願期間	2024年 8月28日(水)～9月4日(水)	2024年 12月9日(月)～12月16日(月)	出願期間 2024年 10月21日(月)～10月29日(火)
一次審査 合否発表日	2024年9月27日(金)	2025年1月20日(月)	試験日 2024年11月24日(日)
二次審査 出願期間	2024年 9月27日(金)～10月7日(月)	2025年 1月20日(月)～1月27日(月)	合否発表日 2024年12月2日(月)
二次審査 試験日	2024年10月27日(日)	2025年2月22日(土)	
合否発表日	2024年11月1日(金)	2025年2月27日(木)	

大学院入試 よくある質問

Q 志望する研究科と異なる専門の学部を卒業しました。出願できますか？

A 出願できます。ただし、その領域について学部卒業程度の知識やスキルがあることが求められます。

● 芸術・デザイン・マンガ研究科の理論系、人文研究科 …… 大学院の専門分野に関連する卒業論文がない場合は、「卒業論文に代わるもの」として12,000字以上（英語の場合は7000words以上）の卒業論文に相当するレポートを提出してください。

● 芸術・デザイン・マンガ研究科の実技系 …… 選考過程において適正を判断します。ポートフォリオに今まで手がけた作品やアイデア等をまとめてください。

Q 指導を希望する教授と事前に連絡をとる必要がありますか？

A 課程により異なります。

● 博士前期課程：不要です …… 事前に連絡をとる必要はありません。指導教員は入学後に決まります。本学の教員の研究内容については、教員一覧をご参照ください。

● 博士後期課程：必要です …… 必ず事前面談を行ってください。「博士後期課程事前面談書」に承諾のサインをもらい、出願時に提出してください。教員の連絡先は、入学グループまでお問い合わせください。
入学グループ：nyushi@kyoto-seika.ac.jp

Q 大学院に入る前の研究生制度や、留学生別科はありますか？

A 研究生は募集していません。また留学生別科はありません。

Q 留学生も受験できますか？

A はい。留学生も歓迎です。ただし2期の試験は、国内在住者の方のみ受験可となります。また、日本語能力等の出願資格が設けられています。詳しくは6月に発行する「入試要項」をご確認ください。

Q 過去問題を見ることが
できますか？

A 大学ウェブサイトでも過去3年分の問題をご覧いただけます。



授業料

2023年度実績

[博士前期課程 / 修士課程]

	年 間	1 回あたりの納入金※
芸術研究科(実技系) デザイン研究科(実技系) マンガ研究科(実技系)	1,050,000 円	262,500 円
芸術研究科(理論系) デザイン研究科(理論系) マンガ研究科(理論系) 人文学研究科	750,000 円	187,500 円

※授業料は年4回(4月、7月、10月、1月)に分けて納入します

[博士後期課程]

	年 間	1 回あたりの納入金※
芸術研究科 マンガ研究科	750,000 円	187,500 円

※授業料は年4回(4月、7月、10月、1月)に分けて納入します

入学手続き時納入金

入学手続きは、期日までに「入学手続き時納入金」を納入することで完了します。

期日までに入金されない場合、入学することはできません。

入学手続き時納入金の内訳

- 入学金：200,000円 ※本学卒業生・修了生は免除されます
- 年間授業料の1/4相当額(上表「1回あたりの納入金」)
- 留学生対象学研災付帯学生生活総合保険(外国人留学生のみ)：
博士前期課程・修士課程 … 7,340円(2年分)、博士後期課程 … 10,510円(3年分)

奨学金制度

国内学生 国内学生が対象

留学生 留学生が対象

以下の奨学金はすべて「給付型」の奨学金です(学費を減免して充当します)

名 称	金 額	対 象 者	採用人数	選考時期
国内学生 大学院学費減免 国内学生	博士前期・修士課程： 年間授業料の1/2の額 博士後期課程： 年間授業料の3/4の額	本学が定める家計と成績要件を 満たす者 ※1年生は成績要件なし	博士前期・修士課程：4名 博士後期課程：3名	入学後
私費外国人留学生 大学院学費減免 留学生	博士前期・修士課程： 年間授業料の1/2の額 博士後期課程： 年間授業料の3/4の額	本学が定める家計と成績要件を 満たす者 ※1年生は成績要件なし	博士前期・修士課程：10名 博士後期課程：3名	入学後
海外プログラム 学修奨励奨学金 国内学生 留学生	年間授業料の1/2の額	本学の海外協定校への交換留学および、 本学が開講する海外プログラム(ショー トプログラムは除く)を履修する学生	20名	入学後

ACCESS

京都精華大学は、京都の中心地から電車で20分ほどのアクセス便利なエリアにあります。
通学途中には、文化施設や世界遺産などのカルチャースポットも数多くあります。



- JR「京都」駅から 約30分**
京都市営地下鉄「国際会館」駅下車、3番出口より無料スクールバスで約10分
- 京阪電車「出町柳」駅から 約20分**
叡山電車に乗り換え「京都精華大前」駅下車すぐ

主要駅からのルート・所要時間案内

京都市内から	京都	地下鉄 烏丸線	20分	国際会館	スクールバス	10分			
	二条	地下鉄 東西線	4分	烏丸御池	地下鉄 烏丸線	14分	国際会館	スクールバス	10分
	三条	京阪本線 特急	4分	出町柳	叡山電車 鞍馬線	17分	京都精華大前		
大阪から	大阪	JR東海道本線 新快速	29分	京都	地下鉄 烏丸線	20分	国際会館	スクールバス	10分
	大阪梅田	阪急 京都本線 特急	40分	烏丸・四条	地下鉄 烏丸線	16分	国際会館	スクールバス	10分
	淀屋橋	京阪本線 特急	54分	出町柳	叡山電車 鞍馬線	17分	京都精華大前		
兵庫から	三ノ宮	JR東海道本線 新快速	52分	京都	地下鉄 烏丸線	20分	国際会館	スクールバス	10分
滋賀から	大津	JR東海道本線	9分	京都	地下鉄 烏丸線	20分	国際会館	スクールバス	10分
奈良から	近鉄奈良	近鉄 京都線 特急	36分	京都	地下鉄 烏丸線	20分	国際会館	スクールバス	10分

京都精華大学

国際文化学部 / メディア表現学部 / 芸術学部 / デザイン学部 / マンガ学部

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137
<https://www.kyoto-seika.ac.jp>



※デバイスによっては読み取れない場合があります。

大学案内・オープンキャンパスについて 広報グループ

TEL. 075-702-5197

E-mail. shingaku@kyoto-seika.ac.jp

入試・出願書類について

入学グループ

TEL. 075-702-5100

E-mail. nyushi@kyoto-seika.ac.jp

※掲載情報は2024年3月末時点のものです ※教員情報は2024年度在籍者です



オンライン個別相談

大学院の出願資格や入学試験について直接相談できる、オンライン個別相談を受け付けています。

ご自宅などから利用していただくことが可能です。

みなさんの不安を少しでも解消してください。

※相談には職員が対応します。教員と相談することはできません

